

スーパー総合周産期センターに係る今後の取組について～連絡会ご意見取りまとめ～

◆スーパー母体搬送の10年の振り返りとして、今後のシステム改善に向けて、症例報告・検討を実施

症例からの主な課題

(1) 一次施設からの適切な搬送や転院が行われず、重症化する事例への対応

<早期搬送の必要があったと思われる事例>

- ・同一施設からの産褥搬送(無痛分娩)
- ・危機的産科出血・脳出血
- ・羊水塞栓症・妊娠高血圧症候群、子宮内胎児死亡
- ・分娩後数日の心不全・分娩後の意識障害

<一次施設でのハイリスク分娩管理が課題と思われる事例>

- ・全前置胎盤、妊娠高血圧症候群等の一次施設でのハイリスク分娩管理

(2) 一般通報における早期流産、異所性妊娠の増加

- ・スーパー母体搬送に乗せることにより、遠方への搬送や救命対応の必要のない症例の増加

今後の方向性

(1) 重症化を防ぐため、一次施設からの適切な搬送を再徹底

- ①事例等を踏まえて、原因分析、改善点などを事例集等に取りまとめ、医療機関及び都民等へ情報発信
 - ・事例の抽出、原因分析、改善点等を踏まえた事例集等を周産期医療協議会等から発信

- ②一次施設へのフィードバック方法について検討

- ・一次施設がスーパー母体搬送を利用しやすいように配慮

(2) 早期流産と異所性妊娠の取り扱いについて検討

- ・これまでの流産と異所性妊娠について検証

スーパー検証WG(仮称)での検討

◆周産期医療協議会の下に、スーパー検証WG(仮称)を設置し、下記について今後検討

- ・一次施設からの早期搬送・転院に向けた事例集等作成
- ・早期流産、異所性妊娠の取り扱いについて
- ・その他スーパー母体搬送の向上に資すること